

発達障害診断書

氏名		性別	男・女	生年月日	年	月	日
					(歳)	
①障害名 (該当するICD-10コードを○で囲む)	自閉症 (F840) アスペルガー症候群 (F845) その他の広汎性発達障害 (F848)	学習障害 (F819) 注意欠陥多動性障害 (F900) その他 ()					
②成育歴 (該当するものを○で囲む)	(1) 3歳以前において、以下の領域で発達の異常または発達の退行が明らかに存在した。						
	(a) 社会的なコミュニケーションに用いる受容性言語または表出性言語						
	(b) 相手に対する選択的な愛着の発達、または社会的相互交渉の発達						
	(c) 機能あそびまたは象徴あそび						
	(2) 表出性・受容性言語や認識能力の発達						
	(a) 2歳までに単語の使用ができ、3歳までに意思伝達のための二語文（フレーズ）を使えた。						
	(b) 身辺処理や適応行動および周囲に向ける好奇心が、生後3年間は正常な知的発達に見合っていた。						
	(3) 幼児期の状況（該当する番号をすべて○で囲む）						
	1. 視線が合わない 2. 他の子どもに興味がない 3. 名前を呼んでも振り向かない						
	4. 指さしで興味のあるものを伝えない 5. 言葉の遅れがある 6. 会話が続かない						
	7. 一方通行に自分の言いたいことだけを言う 8. 友達とごっこ遊びをしない						
	9. オウム返しのお返事が目立つ 10. CMなどをそのままの言葉で繰り返す						
	11. 同じ質問をしつこくする 12. 普段通りの状況や手順が急に変わると、混乱する						
	(4) 健診時の指摘事項						
	1歳6ヵ月健診 なし・あり（内容： ）						
	3歳健診 なし・あり（内容： ）						
	就学前健診 なし・あり（内容： ）						
	(5) 療育歴 なし・あり（ 歳頃 機関名 ）						
③障害像 (該当するものを○で囲む)	(1) 社会的相互交渉における質的な異常						
	(a) 視線・表情・姿勢・身振りなどを適切に使用して、相手とのやりとりを調整することができない。						
	(b) （機会は豊富にあるにもかかわらず、精神年齢に見合ったやり方で）興味・活動・情緒を相互に分ち合うような友達関係を、十分に発展させることができない。						
	(c) 相手の感情に対する反応が乏しかったり異常だったりすることで示される、社会—情緒的相互関係の欠如、あるいは社会的文脈にそって行動を調整することの欠如、あるいは社会的、情緒的、意思伝達的な行動を統合する力の弱さ。						
	(d) 喜び、興味、達成感を相手と自発的に分かち合おうとしない（たとえば自分が 関心をもっている物を相手に見せたり、もってきたり、あるいは指し示すことがない）。						
	(2) コミュニケーションにおける質的な異常						
	(a) 話し言葉の発達が遅れているか、あるいは話し言葉が全くない、なおかつそれに代わるコミュニケーション様式として身振りや手振りをを用いようとする（これに先立ち、意思伝達をする喃語がなかったことが多い）。						
	(b) （言語能力がどのような水準にあろうとも）相手からのコミュニケーションに対して互いに反応しあうものである会話のやりとりを、自分から始めたり維持することが、その言語能力に見合わないほど下手である。						
	(c) 常同的・反復的に言語を使ったり、あるいは単語や語句の特有な言い回しをする。						
	(d) ごっこあそびや相手との模倣あそびを、いろいろなやり方で、自発的に行うことがなかった。						
	(3) 行動や興味および活動の制限された反復的・常同的パターン						
	(a) 1つまたはそれ以上の、常同的で制限された興味のパターンへの没頭が見られ、なおかつその内容や焦点の当て方で異常であること。または1つあるいはそれ以上の興味への没頭が見られ、内容や焦点の当て方ではなく、その強さや限定された性質の点で異常である。						

	(b) 特定の機能的でない手順や儀式的行為に対して、強迫的とも見える執着のしかたを示す。
	(c) 手や指をひらひらさせたりくねらせたり、全身を複雑に動かしたりするなどの、常同的で反復的な運動上の奇妙な癖がある。
	(d) 遊具の一部分や機能と関わりのない要素（たとえば、その匂い・表面の感触・それから生じる音や振動）に没頭する。
	(4) 多動性障害
	発達段階と不釣り合いな不注意、過活動、または衝動性が6ヶ月以上持続し、不適応を起こすほどである。
	(5) 会話および言語の特異的発達障害
	構音（音韻）能力、表出性または受容性言語能力の障害のために、日常生活の活動に明らかな支障をきたしている。
	(6) 学習能力の特異的発達障害
	読みの正確さと理解力、書字、または算数能力の障害のために、日常生活の活動に明らかな支障をきたしている。
	(7) 運動能力の特異的発達障害
	微細または粗大な協調運動の障害のために、日常生活の活動に明らかな支障をきたしている。
④評価結果	(1) PARS：評価日 年 月 日（幼児期回顧得点 点 思春期・成人期現在得点 点） (2) AQ-J：評価日 年 月 日（ ）点 (3) WAIS - III：評価日 年 月 日（PIQ VIQ FIQ ） 群指数（VC PO WMまたはFD PS ） (4) ADHD-RS：評価日 年 月 日（不注意 多動/衝動性 合計 ）
⑤併発症 （該当する番号をすべて○で囲み、発症時期、服薬有無を記載する）	(1) 抑うつ状態：1. 思考・運動抑制 2. 易刺激性、興奮 3. 憂うつ気分 4. その他（ ） 発症時期：（ ） 服薬：なし・あり（ ） (2) 躁状態：1. 行為心迫 2. 多弁 3. 感情高揚・易刺激性 4. その他（ ） 発症時期：（ ） 服薬：なし・あり（ ） (3) 幻覚妄想状態：1. 幻覚 2. 妄想 3. その他（ ） 発症時期：（ ） 服薬：なし・あり（ ） (4) 情動及び行動の障害：1. 爆発性 2. 暴力・衝動行為 3. 多動 4. 食行動の異常 5. チック・汚言 6. その他（ ） 発症時期：（ ） 服薬：なし・あり（ ） (5) 不安及び不穏：1. 強度の不安・恐怖感 2. 強迫体験 3. 心的外傷に関連する症状 4. 解離・転換症状 5. その他（ ） 発症時期：（ ） 服薬：なし・あり（ ）
⑥上記⑤の(1)～(5)について、過去の通院・治療の状況	
⑦障害福祉、児童福祉等のサービスの利用状況	
⑧備考（不登校やひきこもり、対人関係のトラブル、触法行為の有無、その他の評価点など）	
医療機関所在地 名称 電話番号 医師氏名（自署または記名捺印）	年 月 日

(裏面)